

学校自己評価報告書

(平成30年度)

令和元年7月

学校法人電波学園

東海工業専門学校熱田校

学校評価委員会

委員長	原	和正（校長）
総括責任者	夏目	秀一（教頭）
副委員長	後藤	辰也（科長）
	小木曾	吉朗（事務長）
委員	白石	浩一（教務主任）
	橋本	浩二（指導主任）
	佐藤	浩一（校務主任）
	牧野	彰弘（建築科）
	高須	泰彰（機械科）

目 次

I	学校の現況	P 1
II	評価の基本方針	P 2
III	教育目標	P 2
	校訓・誓いの言葉・学習五訓・生活五訓	P 3
IV	評価項目の達成及び取組状況	P 4
	(1) 教育理念・目標	P 4
	(2) 学校運営	P 4
	(3) 教育活動	P 5
	(4) 教育成果	P 6
	(5) 生徒指導・生徒支援	P 7
	(6) 教育環境	P 8
	(7) 生徒の受入募集	P 9
	(8) 財務	P 9
	(9) 法令等の遵守	P 10
	(10) 社会貢献・地域貢献	P 10
V	学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果	P 11

I 学校の現況

(1) 学校名

東海工業専門学校熱田校

(2) 所在地

〒456-0033 名古屋市熱田区花表町 19-14

(3) 沿革

昭和36年 本校の前身東海製図技術学校設立
昭和45年 東海工業専門学院と改称
昭和50年 東海工業専門学校と改称
昭和51年 学校教育法第82条の2に基づく専修学校として認可
昭和60年 高等課程機械科設置
昭和61年 高等課程設備科設置
平成7年 東海工業専門学校金山校開校／東海工業専門学校熱田校と改称
平成16年 東海工業専門学校金山校があいち建築デザイン専門学校と校名変更のため東海工業専門学校と改称
平成17年 高等課程建築科設置（設備科募集停止）
平成20年 東海工業専門学校から東海工業専門学校熱田校と改称
平成23年 建築科男女共学化
平成24年 機械科男女共学化

(4) 学科の構成

建築科（建築コース・インテリアデザインコース）
機械科

(5) 生徒数および教職員数

生徒数	建築科	188
	機械科	516
教員数	専任教員	31
	非常勤講師	30
職員数	専任事務職員	2

(6) 施設の概要

1号館 3F 体育館兼講堂
2F 普通教室・大講義室・図書室・生徒会室
1F 校長室・職員室・事務室・保健室・生徒指導室・進路指導室
・常設展示室・カウンセリング室・相談室・応接室
2号館 3F 製図室（建築科）・多目的実習室
1・2F 普通教室

3号館	4F	シーケンス実習室
	3F	コンピュータ室（第1・第2）
	2F	木工加工実習室・普通教室
	1F	原動機実習室・カート実習室
	地下	倉庫
5号館	2・3F	普通教室
	1F	普通教室・職員室
	地下	特別教室・溶接実習室
南館	3F	第2アリーナ（柔道場・卓球場）
	2F	金属加工室・小型旋盤実習室・小型彫刻機実習室・計測実習室
	1F	機械実習室（旋盤、万能フライス盤、立フライス盤、ボール盤、平面研削盤、火花試験機、仕上げ作業台）配管実習室

II 評価の基本方針

多くの人に本校の教育方針や学校運営を理解してもらい、反省すべき点は謙虚に受け止め、改善努力を惜しまないことが本校の責務であるとの認識から、法令や行政指導に従うことはもちろん、論理性と客観性を重視し、わかりやすい表現を心掛けることにした。

III 教育目標

本校は“人づくり教育”に充分意を用い、社会の情勢、変革などを見きわめながら、本学園の建学の精神である「社会から喜ばれる知識・技術をもち、歓迎される人柄を兼ね備えた人材の育成」を、日々の学校生活の中で指導、実践している。特に、人格の向上完成を実現するため、「しつけ教育」つまり、基本的な生活習慣の確立に重点を置き、より充実した教育効果をあげるべく努力している。そして、その教育理念を実現するために「誓いの言葉」「学習五訓」「生活五訓」の唱和を実践している。

「校 訓」

自主 友愛 壮健

「誓いの言葉」

私たちは父母のお陰で勉学する機会が与えられているから、
その期待にそむかず、一生に二度とこないこの時を無駄にすることなく
勉学と修養に励み、社会から喜ばれる人間になろう。

「学習五訓」

- 一、学園は勉強の場である
- 一、学問・技術へ情熱をもて
- 一、能力の自己啓発につとめよ
- 一、積極的に思索せよ
- 一、謙虚に学ぶ心をもて

「生活五訓」

- 一、礼儀を重んじよ
- 一、規律を守れ
- 一、心に愛をもて
- 一、顧みて前進せよ
- 一、健全な身体を造れ

IV. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
○理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
○学校における教育の特色は定められているか	④	3	2	1
○社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
○理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	③	2	1
○各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	③	2	1

① 課題

- ・全職員が教育理念・目標を理解するだけでなく、生徒指導や授業内容への実践について更に研究する。
- ・保護者、生徒に教育理念、目標をより一層浸透させる。

② 今後の改善方策

- ・企業が求める人材を理解し、具体的目標（資格、職種等）を持った人材を育成する
- ・生徒の個性を伸ばし、自信を持った言動がとれるようにする。

③ 特記事項

- ・学校の理念、目標、特色については新入生説明会に配付する【本校の指導方針と考え方】で保護者、生徒に周知している。
- ・各教室に「建学の精神」「誓いの言葉」「学習五訓」「生活五訓」を掲示し毎朝唱和を実践するなど、社会が必要とする人物像になるための意識を高める。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
○目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
○事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
○運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
○人事、給与に関する制度は整備されているか	④	3	2	1
○教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
○業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が	④	3	2	1

整備されているか				
○教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
○情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

① 課題

- ・ホームページの更新等、情報公開は実施されており、在校生の保護者や進路を検討している中学生・保護者に対して情報開示されている。しかし、外部、特に地域住民に対して本校を知ってもらう機会が十分とはいえない。

② 今後の改善方策

- ・地域の清掃活動や「文化祭」の案内をはじめ今まで行ってきた地域に対する奉仕活動や住民とのコミュニケーション活動の機会をさらに拡充する。例えば実習で製作したものを地域で利用してもらうなど、新たな交流を図るべく計画する。
- ・ユニバーサル・デザイン授業、アクティブラーニングの更なる研究と実践を行う。

③特記事項

- ・年度初めに理事長より【学園の運営方針】が出され、それを受けて【学校目標】を設定し、全職員一丸となって取り組んでいる。
- ・校内の運営組織は、【組織表】【職務分掌表】により、教務、指導、校務、事務の各部署がそれぞれの業務を遂行している。
- ・職員会議、主任会議、学年会議、指導科会議、プロジェクト会議等が随時開催され、職員の意思統一がなされている
- ・情報システムが学園全体で一元化され、効率よく業務が遂行できるようになっている。

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
○教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	④	3	2	1
○教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
○学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
○キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1
○関連分野の企業・関係施設等、業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	③	2	1

○授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
○成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
○資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
○人材育成目標に向けて授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
○関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
○関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1
○職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

① 課題

- ・関連分野の企業・関係施設等、業界団体との連携が不十分な面がある。

② 今後の改善方策

- ・企業訪問を通して積極的な企業情報の収集をし、教育活動に反映する。
- ・毎年実施されている企業向けオープンキャンパスで、企業の人事担当者（10社程度）から、授業風景等の見学後、詳細な意見を聞き取り、授業などに反映する。

③ 特記事項

- ・本校は技能連携校として高等学校卒業資格が与えられる。また、大学受験資格付与指定校でもあるため、特色あるカリキュラムが組まれている。

(4) 教育成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
○就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
○資格取得の向上が図られているか	4	③	2	1
○退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
○卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1
○卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

① 課題

- ・キャリア教育（勤労観・職業観の育成）については、担任や担当者等学校関係者の指導に限られており、生徒にとってより効果的な方法を検討する。
- ・資格取得の成果に関してはほぼ適切であったが、資格取得の為の指導体制が十分に整

えられなかった。

② 今後の改善方策

- ・ 本年も「ハローワーク」より講師を招き、就職の現状と心構えについて講演をしてもらった。今後も、引き続き企業の求人担当者及び本校卒業生による講演を依頼し、現状に即した話を生徒に聴かせることにより、より進路（就職）に対するリアリティーを高め、指導効果をあげる。また、入学後から3年次の進路選択に向け、1年次から計画的にキャリア教育をすすめる。
- ・ 資格取得に関しては、過去の反省を十分に活かし、効率的な補習の実施を検討する。

③ 特記事項

- ・ 現場女子（建築女子・機械女子）求人開拓のため、渉外担当、3年生担任で求人依頼活動を実施している。
- ・ 本校が推奨し取り組んでいる主な資格検定は次の通りである。受験に当たっては可能な限り、合格対策補習講座等を実施し指導にあたっている。

技能検定機械加工（普通旋盤）

技能検定機械検査（機械検査作業）

危険物取扱者（丙種・乙種）

建築積算士補

機械製図検定

基礎製図検定

初級 CAD 検定

アーク溶接特別教育

ガス溶接技能講習

自由研削砥石特別教育

フォークリフト運転特別教育

小型車両系建設機械運転特別教育

実用英語検定

日本漢字能力検定

日本語検定

計算技術検定

文書デザイン検定

情報処理技能検定（表計算）

パソコンスピード認定

アマチュア無線技士

（5）生徒指導・生徒支援

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
○基本的生活習慣の確立のために取り組んでいるか	④ 3 2 1

○進学・就職指導にかかる支援体制は組まれているか	④	3	2	1
○生徒・保護者からの相談体制が組まれているか	④	3	2	1
○生徒の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
○生徒の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
○保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
○クラブ活動等特別活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
○課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
○卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1

① 課題

- ・ 基本的な生活習慣（礼儀・マナー・態度・服装・言葉遣い等）の確立に向けて出席状況の改善や挨拶の励行を図る。

② 今後の改善方策

- ・ 本年も遅刻者に対する遅刻指導を継続したため、順調に改善されつつある。今後も継続し、さらに指導をすすめる。
- ・ 家庭との連絡を密に行い、必要に応じて家庭訪問を実施する。

③ 特記事項

- ・ 部活動は14部が活動しており、体育系10部は高等学校体育連盟に加盟している。特に自転車競技部はインターハイ、選抜大会および、全日本選手権（各々ロードの部）に出場した。
- ・ いじめ防止徹底のため、年3回の生活アンケートを実施し、早期の対応に努めている。
- ・ スマホの扱い方講習会の実施。

（6）教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
○施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
○学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1
○防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

① 課題

- ・ インターンシップに関する実績が少ない。
学校と企業の事情と生徒の安全面などについても検討する必要がある。
- ・ 避難訓練（火災、地震、津波）内容の再検討。

② 今後の改善方策

- ・ 2年生を中心にインターンシップの実施を計画する。

③ 特記事項

- ・ 防災対策として、避難訓練を年1回実施。災害時のみならず校内の緊急時の対応について【危機管理マニュアル】を作成し、備えている。

(7) 生徒の受入募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
○生徒募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
○生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
○学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

① 課題

- ・ 体験入学における内容の充実。
- ・ 上級学校見学、3年生の進路説明会の依頼がまだ少ない。

② 今後の改善方策

- ・ 体験入学、学校見学会の体験および説明内容を、より生徒の関心、興味のあるものにする。
- ・ 体験入学、学校見学会を通して中学生および保護者に本校の教育方針を十分に理解できるようにする。

③ 特記事項

- ・ 毎年2学期期末試験後に3年生が出身中学校を訪問し、卒業後の進路についての報告をしている。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
○中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
○予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
○財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
○財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

①課題

特になし

②今後の改善方策

特になし

③特記事項

財務状況は順調であり、監査など適正に行われている。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
○法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
○個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
○自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	④	3	2	1
○自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 課題

- ・生徒間のSNS利用によって、学校の知らないところで個人情報がネットに流れることがあり、指導対象となる生徒が増えてきている。

② 今後の改善方策

- ・授業アンケート、生活（いじめ）アンケートの結果についても個人情報を十分配慮し精査する。
- ・SNS関連の企業の方を招き、適切な使用の仕方等の指導を実施している。今後も継続的に実施する予定である。

③ 特記事項

- ・個人情報の保護に関する法律の趣旨を尊重し、個人情報の保護に努めるとともに【個人情報の取り扱いについて】という学校方針を入学時に生徒、保護者に通知している。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
○学校に教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
○生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
○地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)	4	③	2	1

の受託等を積極的に実施しているか	
------------------	--

① 課題

- ・生徒会のボランティア活動について安全面、費用等検討の上活動する。

② 今後の改善方策

- ・以前に障害者教育研究大会で会場として施設を開放した。今後も公開講座、教育訓練等可能な限り受け入れる。

③ 特記事項

- ・災害時の地域避難場所としての指定を受け、定期的に備品の確認管理を実施している。
- ・毎年、生徒会執行部が日本赤十字社の献血ボランティアに参加している。
- ・10月に本学園姉妹校4校による生徒会交流清掃ボランティアを名古屋工学院専門学校専門課程周辺で実施した。

V 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

本学園の建学の精神である「社会から喜ばれる知識・技術をもち、歓迎される人柄を兼ね備えた人材の育成」の具現化を、全教職員が一丸となって遂行することができ、評価項目及び取組状況については、ほとんどの項目で「適切」や「ほぼ適切」と評価することができた。しかしながら今後変遷する社会情勢や生徒の多様な職業観に対応すべく新たな課題に対し、ひとつひとつ積極的に取り組み、保護者や中学校の期待および、信頼をさらに築くため、今後も全教職員で一層努力する所存である。